

シルバーさっぽろ

公益社団法人 札幌市シルバー人材センター 会報編集委員会

(ホームページ URL <https://www.s-silver.jp>)

発行/令和8年8月

札幌市白石区本通16丁目南4-26 リフレサッポロ 4F

TEL.011-826-3296

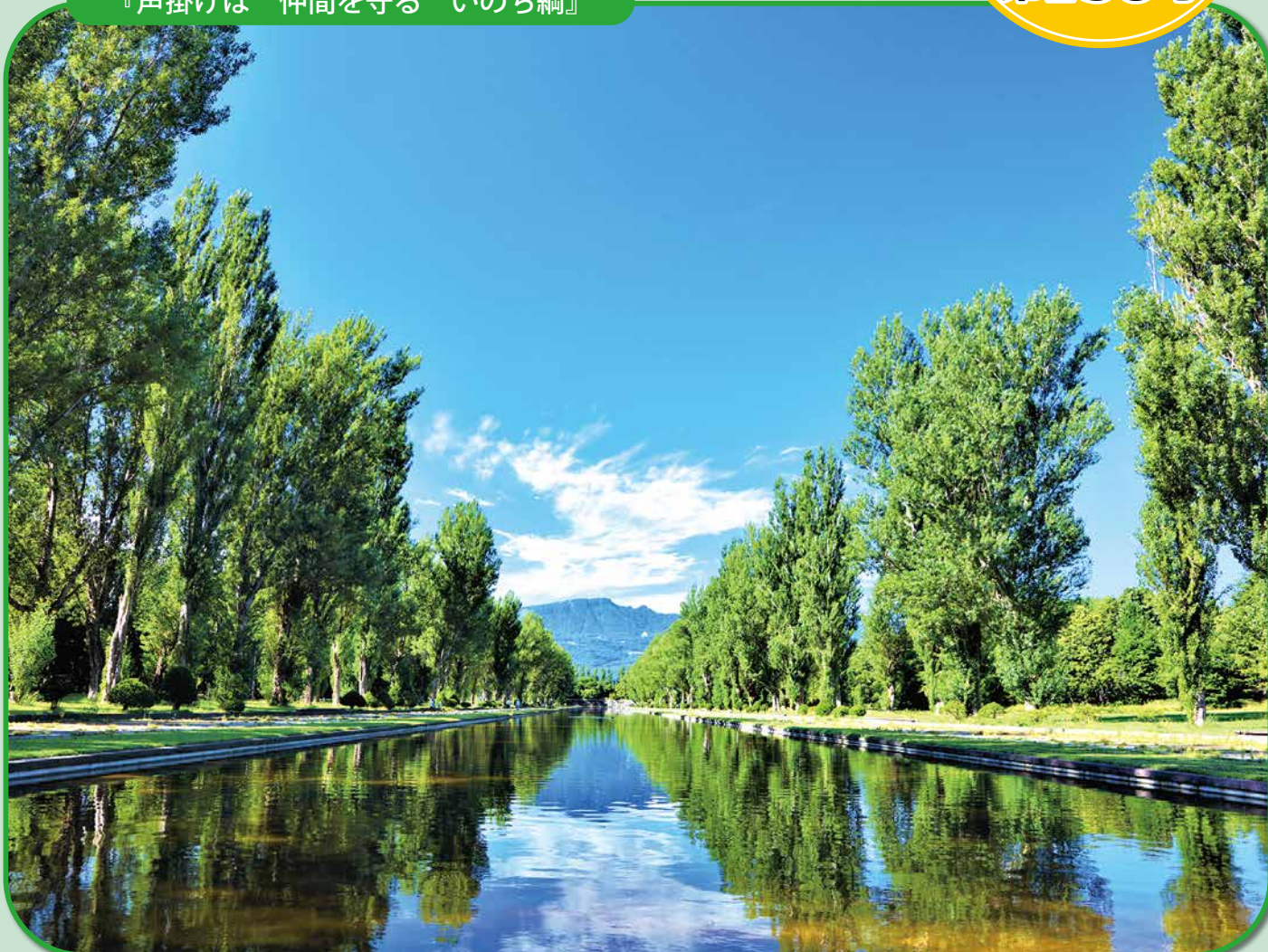
2026

8

第138号

全国統一安全就業スローガン

『声掛けは 仲間を守る いのち綱』



前田森林公園

- 令和8年度定時総会が開催されました 2
- 役員名簿・事業報告・収支計算書 3
- 事業実績 4～5
- 各種委員会名簿/「会費規約」一部改定のお知らせ 5～6
- 新理事就任のあいさつ 7
- 地域班活動のようす(豊平区・清田区・北区) 8～9
- シルボンヌ研修・交流集会について/
「配分金明細書」の郵送廃止のご案内 10
- 「夫婦会員会費減免制度」の導入について 11
- 「会員WEBサービス」をご活用ください 12
- 「スマホ講習会」のご案内 13
- 熱中症を予防して安全就業/職員の紹介 14
- 事務局だより 15
- 編集後記 16

シルバー人材センター
(愛称 生き生きセンター)



令和8年度 定時総会が開催されました

令和8年6月12日(金) 午後2時から、カナモトホール（札幌市民ホール）大ホールで「令和8年度定時総会」が中央支部の大野所長の司会により開催されました。当日は、出席者158名、委任状による出席者1,928名、計2,086名（会員総数3,216名の64%）となり、定款に定める定足数を満たしたことから総会は成立しました。事務局の北林常務理事、河上総務課長から令和7年度事業報告、決算報告などの説明が行われ、すべての議案が出席者の拍手をもって承認されました。



〈議事進行〉

榊理事長の開催挨拶に続き、事務局一任により西区の斉藤貞一会員が議長に選出されました。また、議事録署名人には、定款第18条に基づき、藤村和三郎理事、松浦日出男理事の2名が選出されました。

▶まず、事務局から議案第1号から第3号の「令和7年度事業報告」「収支報告」「決算報告」(P3～P5 参照)の説明があり、続いて佐々木武監事から、関係書類等を精査した結果、適正に処理されている旨の監査報告がありました。

〈質疑応答〉白石区の松金俊英会員、豊平区の鈴木喜兵衛会員からの質問に対し、北林常務理事、河上課長から丁寧な回答がありました。

▶続いて、「令和8年度の事業計画、収支予算」(2026年4月第137号P1～P3掲載済)の説明がありました。

〈質疑応答〉西区の小松康晴会員からの質問に対し、榊理事長および河上課長から回答がありました。今後、事務局でAI（人工知能）の活用を検討する旨の説明がありました。

▶議案第4号「会費規約の一部改定」について説明がありました。(P6 参照)

〈質疑応答〉東区の菅原章会員からの質問に対し、北林常務理事から「夫婦会員会費減免制度」の導入(P11 参照)などについて具体的な説明がありました。

▶議案第5号「役員の選任」

辞任した役員4名の後任として、理事会推薦の5名が承認され、新たに役員に就任しました。定時総会閉会後には「退任役員表彰」が行われ、風間忠勝前理事および樋口雅宏前監事に対し、榊理事長から感謝状と記念品が贈呈されました。退任役員と新任役員に温かい拍手が送られるなか、午後3時30分に終了しました。

(記 川村・鈴木)

理事長のあいさつ

「地域に貢献する センターを目指して」



理事長 榊 英司

インボイス制度やフリーランス法への対応、物価高騰など、センターを取り巻く事業環境は大きく変化していますが、高齢者の生きがいづくりと地域社会を支えるシルバー人材センターの役割は変わりません。会員数は昨年度、減少傾向に歯止めがかかり、今年度は女性会員の拡大や就業機会の開拓を一層進めるとともに、安全就業の徹底を最重要課題として、役職員と会員が丸となり健全な事業運営に取り組んでいきたい。



公益社団法人札幌市シルバー人材センター 役員名簿（敬称略）

（令和7年度定時総会終結後 ～ 令和9年度定時総会終結時）

役 職	氏 名	備 考
理 事 長	榊 英 司	
副理事長	田 中 洋 一	
副理事長	中 村 晏 雄	
副理事長	平 詔 子	
常務理事	北 林 貴 人	
理 事	藤 村 和三郎	
理 事	松 浦 日出男	
理 事	吉 田 英 治	
理 事	清 水 正 博	新 任
理 事	小 島 修 一	

役 職	氏 名	備 考
理 事	神 野 政 幸	
理 事	松 村 信 夫	
理 事	瀧 尾 よし子	
理 事	渡 利 千佳子	
理 事	馬 渕 秀 彰	新 任
理 事	箭 原 恭 子	
理 事	庄 中 将 人	新 任
理 事	吉 田 裕 亮	新 任
監 事	佐々木 武	
監 事	奥 田 雅 人	新 任

◇ 退任された役員（敬称略） ◇

【理事】 風間 忠勝 【理事】 守屋 光 【理事】 小松 祐司 【監事】 樋口 雅宏

◆ 令和7年度 事業報告 ◆

少子高齢化が進む中で、シルバー人材センターは高齢者の経験を活かし、就業を通じて生きがいや健康維持を支えるとともに、人手不足の解消にも貢献しており、高齢者と地域社会をつなぐ存在として、現代社会に欠かせない役割を担っているところです。

一方で、定年延長等の影響による会員の平均年齢の上昇やインボイス制度の導入等、制度環境の変化が事業運営に少なからず影響を及ぼしています。

令和7年度の事業実績ですが、受託事業及び派遣事業を合わせた実績は、契約件数が14,261件と前年度より852件の減となりましたが、契約金額は、1,247,551千円と前年度より1,311千円の増、率で0.1%の増と前年度とほぼ同額という結果となりました。

令和7年度 収 支 計 算 書

（単位：円）

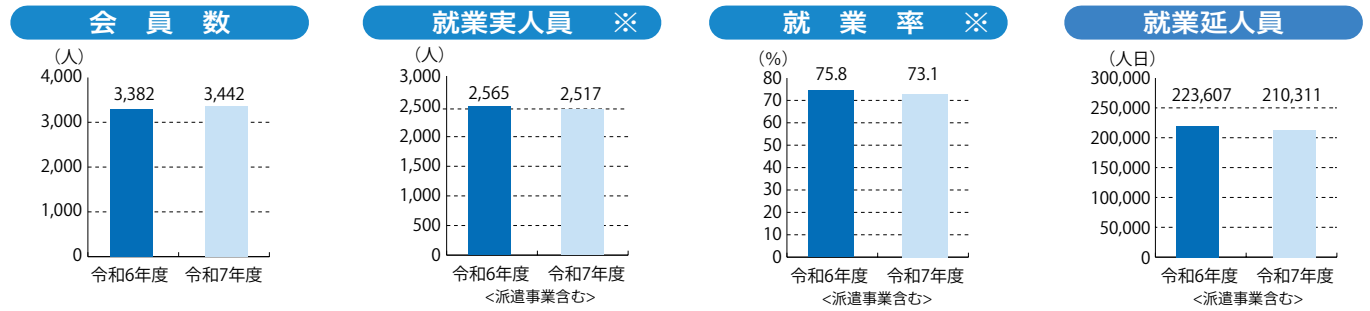
科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	961,842,727	890,188,624	71,654,103
労働者派遣事業等受託収益	58,000,000	51,369,532	6,630,468
受取会費	5,155,000	5,421,400	△ 266,400
受取補助金等	68,942,000	68,942,000	0
雑 収 益	1,000	12,348	△ 11,348
経常収益計	1,093,940,727	1,015,933,904	78,006,823

（単位：円）

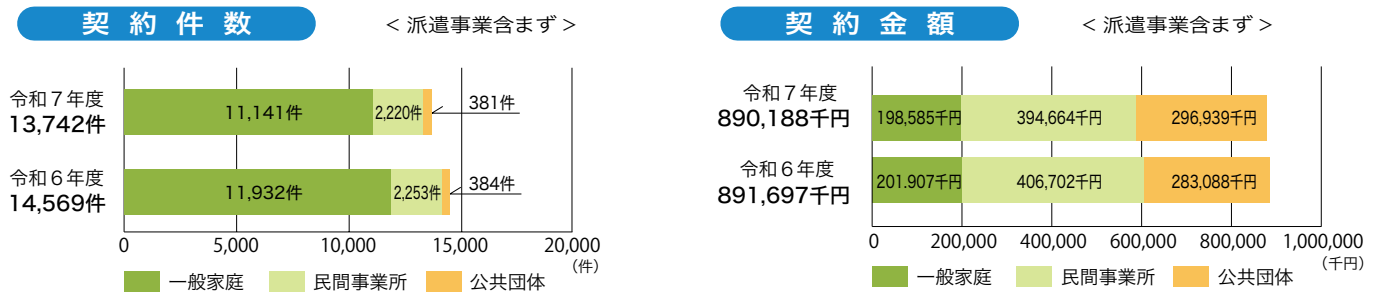
科 目	予算額	決算額	差 異
(2) 経常費用			
事 業 費	1,085,727,727	1,010,046,181	75,681,546
管 理 費	8,577,000	7,536,977	1,040,023
経常費用計	1,094,304,727	1,017,583,158	76,721,569
当期経常増減額	△ 364,000	△ 1,649,254	1,285,254
当期一般正味財産増減額	△ 364,000	△ 1,649,254	1,285,254
一般正味財産期首残高	32,158,150	32,158,150	0
一般正味財産期末残高	31,794,150	30,508,896	1,285,254
II 正味財産期末残高	31,794,150	30,508,896	1,285,254

令和7年度 事業実績

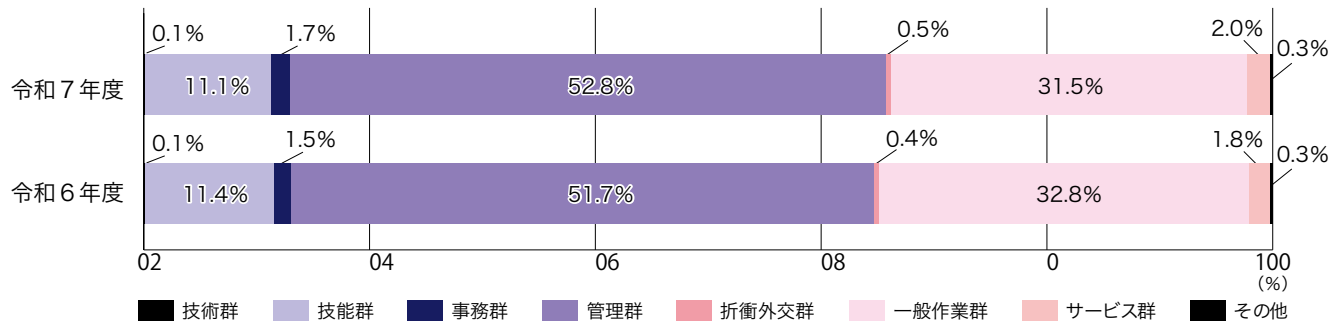
①事業年度別会員数・就業実人員・就業率・就業延人員



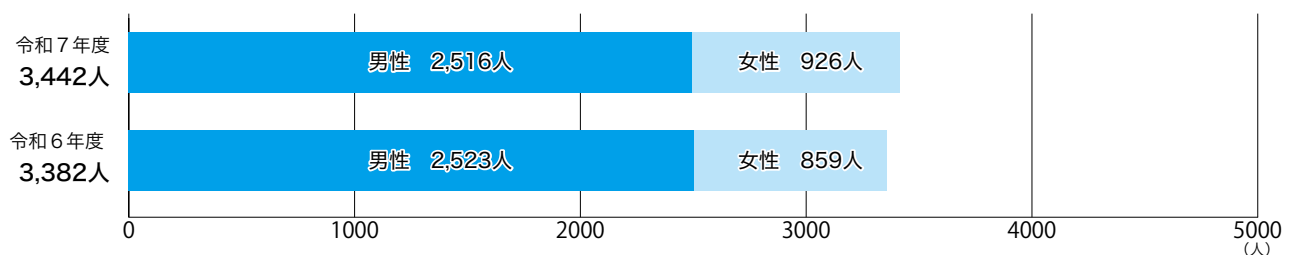
②契約件数・契約金額（受託事業）



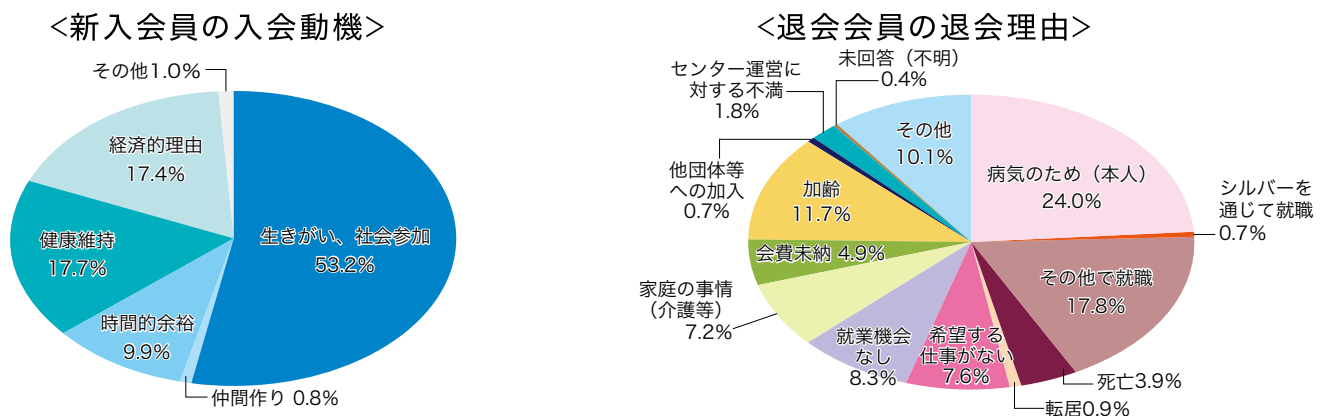
③職群別契約金額構成比（受託事業）



④年度別会員登録状況



⑤新入会員の入会動機・退会会員の退会理由



⑥令和7年度 受託事業実績

職群別実績	区分	事項	①仕事の 申込件数 (件)	② 受注件数 (件)	③職群別 登録会員数 (人)	④就 業 実 人 員 (人)	⑤就 業 延 人 員 (人日)	⑥契 約 金 額 (円)			
								報 酬 (配分金)	材 料 費 等	事 務 費	合 計
職群別実績	技 術 群		35	31	230		298	1,026,263	3,300	149,314	1,178,877
	技 能 群		6,079	5,761	196		13,276	83,258,943	3,926,126	11,361,536	98,546,605
	事 務 群		570	542	298		2,525	12,813,489	21,980	1,894,402	14,729,871
	管 理 群		184	137	1,281		72,998	397,927,045	759,005	71,560,441	470,246,491
	折 衝 外 交 群		12	10	54		587	3,902,186	7,300	645,492	4,554,978
	一 般 作 業 群		7,725	7,035	1,140		56,277	243,764,970	2,095,596	34,976,102	280,836,668
	サ ー ビ ス 群		325	219	233		5,198	15,262,982	29,420	2,434,201	17,726,603
	そ の 他		8	7	10		419	2,060,268	0	308,263	2,368,531
	上 段 計		14,938	13,742	3,442	2,154	151,578	760,016,146	6,842,727	123,329,751	890,188,624
公共・民間別実績	下 段 計		14,938	13,742			151,578	760,016,146	6,842,727	123,329,751	890,188,624
	公 共 事 業		428	381			49,037	245,152,818	1,285,795	50,501,181	296,939,794
	一 般 企 業		2,550	2,220			68,822	343,183,930	1,975,755	49,504,181	394,663,866
	個 人 ・ 家 庭		11,960	11,141			33,719	171,679,398	3,581,177	23,324,389	198,584,964
	独 自 事 業		0	0			0	0	0	0	0

- (1) ②欄受注件数は、1契約が複数月に渡る場合、月数を乗じることなく1件として計上。
- (2) ④欄就業実人員は、年度間を通じて1回以上就業した会員数である。(同一会員が何回就業しても1人として計上)
- (3) ⑤欄就業延人員は、各職群において就業した会員の延数である。(同一会員が技術群で2回、サービス群で2回就業したとすれば4人日で計上)
- (4) 公共・民間別内訳において、「公共事業」は地方公共団体、国公立機関などからの直接受注。「一般企業等」は民間企業、公社、公団、社会福祉法人などからの発注。

⑦ 履行期間別受注件数 (件)	
10 日未満	10,835
10 日以上 1 ヶ月未満	1,430
1 ヶ月以上 3 ヶ月未満	765
3 ヶ月以上 6 ヶ月未満	203
6 ヶ月以上	509
合 計	13,742

各 種 委 員 会 名 簿 (敬称略)

◎事業計画推進委員会 (令和7年度定時総会終結後から令和9年度定時総会終結時まで)

区 分	氏 名	担当部会等
委 員 長	田 中 洋 一	組織部会
委 員	松 浦 日出男	〃
〃	清 水 正 博	〃
〃	瀧 尾 よし子	〃
〃	大 野 浩	〃
〃	平 詔 子	事業部会
〃	藤 村 和三郎	〃
〃	神 野 政 幸	〃
〃	阿 部 信 幸	〃
〃	西 尾 雅 樹	〃

区 分	氏 名	担当部会等
委 員	中 村 晏 雄	安全部会
〃	吉 田 英 治	〃
〃	松 村 信 夫	〃
〃	渡 利 千佳子	〃
〃	大 島 正 人	〃
〃	北 林 貴 人	総務・普及啓発部会
〃	小 島 修 一	〃
〃	河 上 直 輝	〃
〃	島 津 孝 紀	〃

◎令和8年度 地域班運営委員長 (職群班長) 名簿

地域班	氏 名	備 考
中 央 区	白 田 正	
豊 平 区	安 藤 俊 夫	
南 区	松 屋 義 昭	
白 石 区	平 詔 子	新 任
厚 別 区	岩 館 桂 樹	新 任

地域班	氏 名	備 考
清 田 区	秋 田 和 子	新 任
西 区	小 島 修 一	
手 稲 区	秋 田 孝 夫	
北 区	小 山 孝	
東 区	森 崎 秀 明	

◎安全・適正就業委員会 委員名簿（任期：令和7年度・令和8年度）

区 分	氏 名	備 考
委員長	中 村 晏 雄	副理事長
副委員長	鈴 木 エイ子	豊平区地域班運営委員会
〃	我 満 廣 明	西区地域班運営委員会
委 員	谷 口 利 典	中央区地域班運営委員会
〃	小 甲 雅 之	南区地域班運営委員会
〃	上 田 千 尋	白石区地域班運営委員会
〃	廣 瀬 輝 人	新任、厚別区地域班運営委員会
〃	岡 本 勝 利	清田区地域班運営委員会
〃	佐 藤 孝 司	手稲区地域班運営委員会

区 分	氏 名	備 考
委 員	佐 伯 勇	北区地域班運営委員会
〃	阿 部 信 男	東区地域班運営委員会
〃	北 林 貴 人	事務局長
〃	河 上 直 輝	総務課長
〃	大 野 浩	中央支部所長
〃	大 島 正 人	東支部所長
〃	阿 部 信 幸	西支部所長
〃	西 尾 雅 樹	北支部所長

◎配分金見積基準表検討委員会 委員名簿
（任期：令和7年度・令和8年度）

区 分	氏 名	備 考
委員長	平 詔 子	副理事長
委 員	鈴 木 エイ子	中央支部、③一般作業群
〃	藤 本 恵 子	東支部、④サービス群・その他
〃	鈴 木 則 夫	西支部、①技術群・技能群
〃	梅 田 善 郁	北支部、②事務群・管理群・折衝外交群
〃	北 林 貴 人	事務局長
〃	河 上 直 輝	総務課長
〃	大 島 正 人	東支部所長

◎就業機会創出員名簿（任期：令和8年度）

所属支部	氏 名	備 考
中央支部	菊 地 幹 夫	中央区
	松 尾 正 康	豊平区
	道 山 敏 幸	南区
東 支 部	西 間 邦 廣	白石区
	大 高 吉 勝	厚別区
	山 田 吉 昭	清田区
西 支 部	森 田 茂 生	西区
	志 田 佳 信	新任、手稲区
北 支 部	角 谷 栄 一	北区
	松 葉 則 明	新任、東区

◎会報編集委員会 委員名簿（任期：令和7年度・令和8年度）

区 分	氏 名	備 考
委員長	人 見 春 男	西支部
委 員	加 藤 千 鶴	中央支部
〃	長 岡 勝 衛	〃
〃	川 村 佑 子	東支部

区 分	氏 名	備 考
委 員	山 川 雪 子	東支部
〃	鈴 木 恵里子	北支部
〃	北 林 貴 人	常務理事

（敬称略）

「会費規約」一部改定のお知らせ

シルバー人材センター事業の趣旨を踏まえ、会費については会員の意思を反映させる観点から総会の議決事項であることをより明確にするため「会費規約」の一部改定を行いました。

会費に関する基本的な事項は総会で決定することを明確にするとともに、会員の入会促進を目的とした期間限定の取り組みなど、柔軟な運用が必要な場合は、理事会の議決により対応できるようにしました。

【主な改定内容】

- 第2条（会費の額）
会費について、理事会が免除すべき相当の事由があると認めるときは、その全部または一部を免除することを議決できる規定を追加しました。
- 第5条（その他）
条名を「委任」から「その他」に改めるとともに、「この規約に定めるもののほか、会費に関し必要な事項は総会で定める」ことを明記しました。

【施行日】

令和8年6月12日（適用日は令和8年4月1日）

新理事就任のごあいさつ



新理事に就任して

理事 清水 正 博

このたび、清田区地域班運営員会からの推薦を受け、新理事に就任いたしました。

2年前に前理事が退会され、その後、清田区地域班選出の理事が空席のままとなっていたわけですが、今回突然の推薦を受けての理事就任となりました。

令和2年秋、シルバー人材センターへ入会し、翌年より機械除草、植木の手入れ、冬囲い、と資格を得たことで、多くの先輩の皆さん、そして仲間との就業機会が増えることにつながりました。今はシルバー人材センターの理念でもある「地域社会への貢献」につながる仕事を少しはできているのかなと感じております。庭三種に関しては全くの素人だった私が知識と技術も少しずつ身に付き、いい緊張を保ちながら仲間と仲良く、楽しく仕事ができていることに本当に感謝です。私の心情というか考え方のひとつに、全てのことに物理的に無理だと思うこと以外は、基本「断らない」という考えが、若い頃からずっと今に至るまでベースにあります。これには自分の中で理由もあるのですが、書くと長くなりますのでここでは省きます。就業を重ねてきて置かれる立場も少しずつ変わってはきてますが、これまで通り「共働・共助」の精神を持ち、微力ながらも地域社会に貢献するという目的意識を持ち、我々シルバーだからこそ、元気こそが進む力という思いで過ごしたいと思っています。まだまだキャリア不足でありますので、まわりの皆さまのお力添え、ご協力をいただきながら務めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

廃棄物の処理について



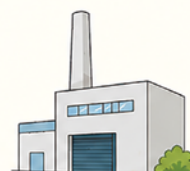
**取り扱って
おりません**

作業で発生した草や枝木などの廃棄物をお預かりし、

処理場へ運搬することは、

廃棄物処理法に抵触するため、

当センターでは取り扱っておりません。



処理場

(清掃工場など)



**ごみ出しの
お手伝いは
可能です**

発注者からの依頼のもと、発注者が
加入している町内会のごみステーションへ
ごみを運ぶこと(ごみ出しのお手伝い)は
問題ありません。

(当センターでは「屋外作業」職種の
取り扱いとなります)



ご不明な点がありましたら、各支部事務所までお問い合わせください。

地域班活動のようす

●豊平区 ●清田区
●北 区

中央支部 ●豊平区地域班

今年度、豊平区地域班では親睦・交流を深めるための活動の立ち上げと企画について話し合いを始めました。候補案は山登りや文学散策、自分史語り、山菜採り・果物狩り、温泉探訪、カラオケ会、手芸講習会、折り紙講習会、映画鑑賞、市民カレッジ講師招聘会、モルック、男子の料理講習会など。会員同士が学び合い、語り合い、歩み合うサークル的な活動ができればという願いを込めたものです。

山登りでは、私たちは互いの歩幅を気遣いながら、風や木々の梢の揺れる音を聴き、大樹の生き方に思いを馳せます。山の頂からは冬のオリンピックを契機に発展してきた札幌の街並みを眺めながら語り合い、心も体もリフレッシュ。健康第一で心地よい汗を流します。

文学散策では、札幌ゆかりの文学作品を読み、心にぐっとくる言葉を拾い上げ、作品の舞台となった場所を訪れます。作家が歩いた道を辿りながら、自分自身の人生の一場面に出会うこともあるかもしれません。自分史語りでは、これまでの歩みを言葉にすることで、忘れていた誇りや、誰かから受け取った優しさを思い出せるかもしれません。失敗や成功の経験を振り返り整理することで若者たちへ渡すバトンもできあがっていきます。

こうした活動は、年齢を重ねたからこそ味わえる深い喜びであり、仲間とともに生きる力を育む場になると確信します。

就業で地域に貢献し、サークルで心を耕し、仲間との対話で新しい自分を見つける。人生の後半にこんな豊かな時間があることを、私たちは互いに確かめ合ひましょう。山を歩く人は山で、文学を愛する人は言葉の世界で、手仕事が得意な人は技で、地域を支えたい人は現場でお互いを輝かせましょう。

新しいサークルづくりは、仲間の輪を広げる大切な一歩です。誰かの「やってみたい」が、次の活動の芽になります。どうかこれからも、互いを励まし合いながら、地域とともに、仲間とともに、そして自分自身とともに、豊かな時間を重ねていきましょう。（記 松尾正康）



三角山



有島武郎旧邸

東支部 ●清田区地域班

清田区地域班女性部 第1回懇親会の開催

5月7日（木）9：30～11：30 清田区民センターにて、女性会員の親睦と、新入会員を交えた情報交換の場として、第1回懇親会を開催しました。

＜春＞をテーマとし、「さくらを愛でながらお抹茶の会」と称して、早々に区民センターの桜が見える会議室を予約。＜裏千家＞のお点前ができる会員の白石早苗会員に講師をお願いしてお茶会となりました。15名の参加で始まったお茶会、3台のテーブルを回ってお抹茶を点てて下さった早苗さん、ありがとうございました。おかわりもいただきましたが、自宅でいただくそれとは異なり、まるやかで深みがありとても美味でした。お菓子とお茶をいただきながら会員同士の会話も弾み、和やかな雰囲気の中で良い時間を過ごすことができたように思います。

今後の交流会は、7月16日「脳トレ」、9月10日「ランチビュッフェ」、12月「お正月料理」と決まっています。季節が進むのも楽しみです。

会員同士の横の繋がりを大切に、魅力ある女性部にしていきたいです。

（記 田鴈文恵）



女性部懇親会

令和8年度清田区地域班安全大会開催

会員の健康促進、体力維持そして安全就業を目的として、「清田区地域班安全大会」を、さる5月20日（水）13時30分から清田区民センターを会場に開催しました。

当日は、会員 26 名の参加のもと、冒頭、岡本安全・適正就業委員から開催にあたって挨拶があり、その後、清田区 3 地区の介護予防センターから指導員 6 名とボランティアの方 5 名の紹介があり、本日実施するカリキュラムについて説明がありました。

実施した体力測定は、「握力」「開眼片足立ち」「5 回立ち座り」「Timed Up&Go」を各 2 回実施し、自分の測定総合結果について、東支部大島所長に札幌市介護予防手帳「いきいき笑顔シニア手帳」に記載していただき、年齢別体力基準平均値と比較し会員同士で見比べるなど、悲喜こもごもの結果に、自分の体力の状態を知る良い機会となりました。

体力測定後、介護予防センター職員による脳トレやサッポロスマイル体操を行い、日ごろ運動不足の会員も、脳トレ、体操でリフレッシュすることができ、新たな気持ちで、シルバー人材センターの就業への意欲と事故防止に努めることに意識を高めることができました。

清田区介護予防センター職員、ボランティアの方々への感謝と、今後とも、一人でも多くの会員に参加いただき、この機会を毎年継続して開催していくことも確認しました。（記 小湊龍三）



体力測定

北支部 ● 北区地域班

北区地域班の中でも、庭 3 種の職群班は総勢 48 名で活動しています。技能判定の内訳は「機械除草 B 14 名、C 17 名」「植木の手入れ B 17 名、C 14 名」「冬囲い B 19 名、C 13 名」と、それぞれ半数以上の会員が資格を有しています。

また、更なる技能向上と資格取得に向け、5 月には「機械除草」、6 月には「植木の手入れ」、9 月は「冬囲い」と、それぞれ本部研修の前に自主研修を開催しています。これら研修の開催場所については、依頼者の庭や空き地など、参加者の駐車スペースも含めて、毎回同一場所で開催することができており、恵まれた環境にあると思っています。

これら職群班の会員構成は例年 50 名前後で推移しており、毎年数名前後が入会と退会をしている状況です。

そして、職群班の活動の中でも一番大きな懸念が事故の発生です。ここ数年は機械除草に伴う飛散物による物損事故、植木の手入れに伴う樹木等の事故、さらに就業中における会員の身体的な事故等もなく、これらのことは、会員の安全就業および健康管理に対する意識の高さの表れによるものと思われます。

長年庭 3 種の就業を経験し、課題として思うことは、会員個々の技能の向上が必要であり、そのための自主研修や就業時に同伴しての技能向上を図るよう職群班として取り組みを進めてきました。しかしながら思うような効果が表れていないように感じることから、本部研修の中で技能検定者を対象とした再講習的な取り組みが必要ではないかと思われるところです。また、団地等の大規模な就業については、袋詰めした草を集積する際に会員の労力によって行っていますが、高齢化や最近の猛暑の影響から機械力に頼りながら効率よく作業を進めることが求められていると感じられます。

庭 3 種は、以前によく言われた 3 K の作業が多く、新入会員の中でも庭 3 種を希望する会員が少なく、今後の会員の減少が懸念されますが、作業後の庭の出来栄と依頼者からお礼の言葉をかけていただくことと帰宅後の晩酌が何よりの活力です。

職群班の今後は、意欲のある新入会員の入会促進と育成にさらに取り組みたいと思っています。

（記 古舘一也）



自主研修会



『新入会員紹介カード』をご活用ください

会員の拡充は、センターの安定した事業運営を支える大切な取り組みです。センターでは、新しい仲間を増やす「一人一会員入会」運動の一環として、「新入会員紹介カード」を活用した入会促進活動を実施しています。

ご家族やご友人、お知り合いでシルバー人材センターに興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひ紹介カードをご活用の上、ご紹介ください。

一人一
会員入会

紹介カードは、4 月発行の会報第 137 号に同封したほか、各支部事務所にもご用意しています。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



シルボンヌ研修・交流集会



～女性が地域で輝くシルバー人材センターの魅力～

開催概要



日時 令和8年11月4日(水)
13:00～16:00



会場 ホテルポールスター札幌
(札幌市中央区北4条西6丁目)



参加費 無料



申込み 「参加申込書」による
事前申込みが必要

- 女性会員約150名が参加予定です。
- 参加される際は、**会員証を首から下げて**ご来場くださいますようお願いいたします。



イベント内容 (予定)

1

オープニング
(岩見沢 SC によるフラダンス披露)



2

全国シルバー人材センター事業協会
副会長による講演



3

シルバー人材センター取り組み発表
(小樽・函館・旭川・帯広 SC)



4

ワークショップ・セミナー
(ストレッチ、アロマ、絵手紙、クラフトバンド手芸
体験、エイジングケアセミナーなど)



5

抽選会



「Silbonne (シルボンヌ)」とは？



「シルボンヌ」は、「Silver (シルバー)」と、フランス語で「親切的」「優れた」といった意味を持つ「Bonne (ボンヌ)」を組み合わせた造語で、シルバー人材センターで活躍する女性会員の愛称です。

主催

北海道シルバー人材センター連合会
(女性部会)



「配分金明細書」の 郵送を廃止します

— 令和9年4月就業分から —



情報伝達のデジタル化や業務の効率化、経費節減を進めるため、
令和9年4月就業分から「配分金明細書」の郵送を廃止します。

今後の確認方法 (基本)

会員 WEB サービスで
明細を確認します。



いつでも
どこでも
確認できます！

書面での発行を希望される場合

書面での発行を
希望される場合は、
支部事務所での
手渡しにより
対応する予定です。



皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



新制度のお知らせ

夫婦会員会費減免制度

当センターでは、会員拡大の一環として、夫婦で会員登録されている方を対象とした「夫婦会員会費減免制度」を新たに導入しました。

本制度は、原則として申請した翌年度分の会費から適用となりますが、制度導入に伴う特例措置として、施行日時点（令和 8 年 6 月 12 日）で既に夫婦で会員登録されている方については、令和 8 年度分の会費から適用します。



対象となる方には案内文書をお送りしております。お手元に届いていない場合は、お手数ですが、お近くの事務所までお問い合わせください。

ご夫婦で会員登録していただく方の会費を減免する制度をご用意しています。

ご夫婦で始める 社会参加と生きがいづくり

一緒にだから、もっと楽しく！
一緒にだから、もっと安心！

夫婦での
入会を応援します！

夫婦会員会費減免制度

制度の内容

1

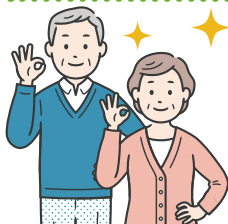
夫婦で同時に入会
または、既存会員の
配偶者が新たに入会



入会初年度は
お一人分の
会費が
無料！

2

次年度以降
夫婦で
会員登録している場合



ご夫婦とも
会費が
半額！

3

対象となる夫婦

✓ 同一住所に居住する夫婦であること
(事実上婚姻関係にある場合を含む)



✓ 制度の適用には
「夫婦会員会費
減免申請書」の
提出が必要です。

※夫婦のいずれかが退会した場合、翌年度から通常会費となります。

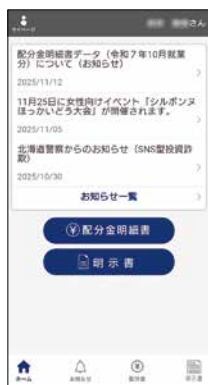
会員の皆さまへ

「会員WEBサービス」を ご活用ください！

令和5年4月に導入した「会員WEBサービス」では、インターネット上で「センターからのお知らせ」「配分金明細書」「就業条件明示書」を確認できます。パソコンやスマートフォンから、いつでも手軽に利用できますので、ぜひご活用ください。

主な画面イメージ（スマートフォン）

1 ホーム画面



2 お知らせ



3 配分金明細書



4 就業条件明示書



Q 利用方法は？



パソコンやスマートフォンでインターネット上にある次のサイトへアクセスしてください。「会員番号」と「パスワード」を入力してログインすると閲覧用のページが表示されます。

【アクセス先】

URL : <https://silverweb.workvision.net/silver-user-web/?cc=01001>

もしくは、右の二次元コードをスマートフォンのカメラで読み取ると簡単にアクセスできます。



Q ログイン時のパスワードは？



初期パスワードは、誕生日の「月日」（数字4桁）で設定しています。（例：3月4日→0304）
※セキュリティ強化のため、ログイン後、パスワードを変更してください。

Q ログイン時のパスワードを忘れた場合は？



お近くの支部事務所または総務課へ連絡してください。
初期パスワードにリセットします。

Q 配分金明細書が更新されるタイミングは？



毎月10日頃に更新します（ただし5月および1月は遅れる場合があります）。
なお、更新時に同サイト上の「お知らせ」メニューにて通知します。

Q 配分金明細書は過去の分も閲覧できるの？



令和元年度以降の配分金明細書を閲覧することができます。

Q 退会した後も利用できるの？



退会後はログインができなくなります。

Q 「配分金明細書」（圧着ハガキ）の発送は？



令和9年4月就業分より廃止します。



ご不明な点は、お近くの支部事務所へお問い合わせください。
担当者が不在の場合もありますので、ご来所の際は事前にご連絡をお願いします。

はじめての
方も安心！

使えるようになると、毎日がもっと便利に！！

参加無料

スマホ講習会

のご案内



当センターでは、デジタル化に向けた取り組みを推進しており、「会員 WEB サービス」の導入等を行っています。
より多くの会員の皆さまに活用していただくため、
スマホ講習会（無料）を開催します！



受講対象者

「スマートフォンの基本的事項を学びたい」
「これからスマートフォンを所有したい」など、
スマートフォンの操作に不慣れな方。
なお、どの携帯会社をご利用の方でも
ご参加いただけます。



講習会の主な内容（全体で約2時間30分）

第一部 （約2時間）

講師：携帯会社

スマホの基本操作等

※携帯会社の貸出機を使用します
（受講者全員が同じスマホで体験）



第二部 （約30分）

講師：当センター会員

会員WEBサービスの操作方法

※スマートフォンをお持ちの方は、
ご自身の機器を使用します。



開催スケジュール



コース	開催日	会場	定員
①	令和8年9月24日（木）	北区民センター （北区北25条西6丁目）	20名
②	令和8年9月28日（月）	白石区民センター （白石区南郷通1丁目）	20名
③	令和8年10月1日（木）	西区民センター （西区琴似2条7丁目）	20名
④	令和8年10月2日（金）	札幌市社会福祉総合センター （中央区大通西19丁目）	20名

※開催時間は、いずれも9時30分から12時です。

少人数で
丁寧に
サポート！



申込方法



- ①【コースNo.】【会員番号】【氏名】を記入の上、「Eメール」「FAX」「郵送」のいずれかの方法によりお申し込みください。
（電話での申し込みは受け付けておりませんので、ご了承ください。）
- ②申込締切日は、講習会開催日の2週間前までとなります。
- ③開催日が近くなりましたら、受講者へ案内文書を送付します。



Eメール



FAX



郵送

申し込みまたは
お問い合わせ

〒003-0026
札幌市白石区本通16丁目南4-26 リフレサッポロ4F
札幌市シルバー人材センター 総務課 担当：島津

TEL：011-826-3296
FAX：011-826-3439
e-mail：kensyu@s-silver.jp



☀ 熱中症を予防して、安全に就業しましょう

残暑が続いていますが、熱中症への注意はまだ欠かせません。
熱中症は屋外だけでなく、室内での就業や日常生活の中でも発生します。
また、高齢になると暑さやのどの渇きを感じにくくなるため、
気づかないうちに症状が進行することがあります。



熱中症を防ぐための5つのポイント



① こまめに水分・塩分補給



汗をかいた時は、塩分も一緒に補給しましょう。

② 暑さを避ける



帽子や日傘を活用し、通気性の良い服装を着用しましょう。

③ こまめに休憩



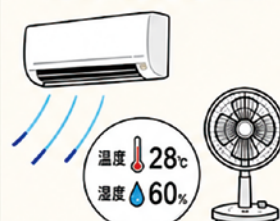
無理をせず、こまめに休憩を取りましょう。

④ 体調をチェック



体調が優れない日は、無理をして就業しないようにしましょう。

⑤ 室内でも温度・湿度管理を



エアコンや扇風機を適切に使用し、室内でも暑さや湿度を我慢しないことが大切です。

こんな症状に注意!



「少しおかしいな」と感じたら…

涼しい場所へ移動し、水分・塩分を補給しましょう。
症状が改善しない場合は、ためらわずに
周囲へ助けを求め、必要に応じて
救急車を呼びましょう!



一人ひとりが熱中症予防を心掛け、安全で安心な就業につなげましょう。

就業中に体調の異変を感じた場合は、決して無理をせず、就業先やセンターへ連絡してください。



職員の紹介



所属：中央支部 米谷 直樹

令和5年4月に中央支部へ入職し、令和8年6月現在まで、もっぱら労働者派遣事業就業コーディネーターとして、4年目を迎えました。

先輩方にご指導をいただきながら、様々な法人への会員派遣対応で、あわただしい日々を過ごしております。

今日までそれなりに仕事ができているのは、派遣先で日々ご精勤いただいている会員の皆さまや労働者派遣事業の土台を構築してくださった先輩諸氏のおかげと感謝しています。

受託事業（請負）会員の皆さまには馴染みが薄いかもしれませんが、今後ともお引き立てを賜りましたら幸いです。

オフの日は、野球（ファイターズ）の観戦や、動画サイトで都市伝説など頭を使わないコンテンツを観たりしています。なかなか手に入らないエスコンフィールドのチケットが入手できた時には、現地観戦とエスコングルメを満喫しています。なお、今シーズンの現地観戦勝率は今のところ5割。

また、休日の銭湯・サウナも楽しみのひとつです。昨年までサウナ上がりのビールを堪能していましたが、現在は車で行くためサウナ飯（サメシ）を楽しんでいます。

このような平凡でなんの変哲もない私ですが、今後も会員の派遣就業のために頑張ってまいりたいと思います。引き続きご指導ご鞭撻のほど、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

年に一度は

健康診断を受けましょう！



安全就業基準第2条には「会員は心身共に健康であることが安全就業の前提である」と明記されています。

健康診断の必要性

早期には自覚症状が無く、症状が現れた時にはすでに進行しているという病気は少なくありません。

症状の無い病気を早期に発見するには、無症状のうちから定期的な健康診断を受けることが大切です。

ご自身の健康を守るためにも、まずは一人ひとりが自分自身のからだに向き合うことが予防の第一歩です。

健康診断の心がまえ（6か条）

1. 毎年欠かさず健診を受ける
2. 健診結果に必ず目をとおり、保存する
3. 結果はきちんと受け止める
4. 気になることがあれば健診機関に相談する
5. 再検査（精密検査）を恐れない、面倒がらない
6. 「異常なし」を過信せず、日頃から身体チェック

健康診断の目的

一次予防 健診結果から生活習慣の改善をし、病気を予防する。

二次予防 病気を早期に発見し、早期治療につなげる。



“会員手帳”についてお知らせ

全国シルバー人材センター事業協会が販売している「2027年版会員手帳」の購入を希望する方は、下記によりお申し込みください。

＜申込方法＞ 居住している区の地域班運営委員長へお問い合わせください。

＜申込期限＞ 令和8年9月末まで ＜価 格＞ 1冊：330円（税込）



緊急時の連絡体制について

緊急時とは、当センターが休業日（土・日・祝祭日・年末年始）において、就業中（就業先と自宅との往復途上を含む。）の会員が不慮の事故・急病等により緊急車両で病院に搬送された場合、又は就業中の会員が不測の事故を起こし、お客様や一般市民に傷害・損害を与えた場合で、ただちにセンターと連絡を取る必要がある時のみであり、この場合の連絡体制は下記のとおりとします。

会員が所属する地域班と支部		緊 急 連 絡 先	
		第1次連絡先	第2次連絡先（所属支部所長が不在で連絡が取れない場合）
中央支部	「中央区・豊平区・南区」地域班	中央支部所長 携帯 090-3777-3324	下記のいずれかに連絡すること。 事務局長 携帯 090-6218-2155 総務課長 携帯 090-3899-9693
東支部	「白石区・厚別区・清田区」地域班	東支部所長 携帯 090-3899-9711	
西支部	「西区・手稲区」地域班	西支部所長 携帯 090-3899-9671	
北支部	「北区・東区」地域班	北支部所長 携帯 080-9986-1856	

※ 緊急時以外で、上記の電話番号への連絡はご遠慮下さい。

◇ 事務職員に異動がありました ◇

【退職】

7 / 31 付

岩 舘 正 敏

退 職

総務課 事務職員

会員による『普及啓発チラシ』配布のお願い

多くの会員の皆さまの就業機会が得られるように、毎年実施している会員による普及啓発チラシの配布については、着実にその成果をあげており、今年度も第2回目の配布を実施します。

今回、会報「シルバーさっぽろ第138号」に併せて、普及啓発チラシをお届けいたしますので、ご近所、就業先の近隣あるいは参加される会合などでお配りいただきますようお願いいたします。

会員の皆さまによるPR活動は、着実に実を結んでおります。

なお、チラシは一人10枚程度お届けしますが、不足の会員さんは各支部事務所に予備がありますので、ご利用願います。また、配布の際には交通事故等に充分お気をつけください。

パネル展の開催について

本年度もシルバー人材センター事業普及啓発促進月間に合わせ、札幌市役所1階西側ロビーで『パネル展』を開催します。

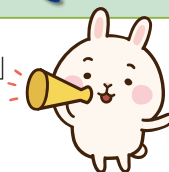
期 間 令和8年10月26日(月)～10月30日(金)

時 間 午前8時45分～午後5時15分



お願い 会員の「緊急連絡先」の更新連絡について

会員の皆さまにおかれましては、就業中の怪我など緊急の際に使用する「緊急連絡先」を入会時にお知らせいただいておりますが、年月の経過等により連絡がつかないケースが散見されます。



万一の事態に備え、**「緊急連絡先」に変更が生じた際は、速やかにお近くの支部事務所まで連絡**をお願いいたします。

年会費の納入はお済みですか？

令和8年度の会費を納入していない方は忘れずに納めて下さい。

編集後記

「暑くない夏なんてつまらない！」と思った時代もありました。あー、でもこの北国でクーラーが必要となる暑さが続いています。そんな暑さの中、子供の頃(昭和20年代)の札幌の夏のいろいろな風物詩を思い出すと、気持ちが爽やかになります。

今でも強く印象に残っているのは“夕立”の情景です。突然入道雲がモクモクとわき、雷が鳴り、ザーっという音とともに滝のように真っすぐな雨が降り出すのです。近頃のゲリラ雷雨とは「似て非なるもの」で、野原や道路を優しさを持って打ちつける慈雨の趣がありました。雨があがると澄み切った空気の中、真っ青な空と白い雲の対比が鮮やかでした。北国特有の情緒を感じる、私のなかの夏の一コマです。

この数年の夏の異常な暑さは地球温暖化もありますが、北海道で札幌が大都市化していく過程でのヒートアイランド現象が深く関わっています。エアコンの室外機や、自動車などの排気ガスでの気温の上昇。地球の平均気温が2℃上昇すると生活環境が打撃を受け、熱中症などさまざまな危険が高まります。

数年前、環境問題に取り組むスウェーデンの少女が、懸命に訴えていた姿を思い出す方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

日常生活で私たちは、ごみを減らす、節水する、電気製品の使い方を考えるなど、温暖化防止のためにできることがたくさんあります。

これからの世代のためにも、『北国のあの爽やかな空気をもう一度』を目標にしたいですね。
(記 川村佑子)

事業実績

会 員 数

3,225 人

<男性> <女性>

2,355 人 870 人

契 約 件 数

4,231 件

契 約 金 額

245,281,305 円

令和8年6月末現在